

# コード決済における不正流出したクレジットカード 情報の不正利用防止対策に関する検討会について

## 1. 背景

一部のコード決済サービスにおいて、クレジットカード情報（カード番号、有効期限、セキュリティコード）が不正利用される事案が発生いたしました。

今回の不正利用においては、不正利用者が過去に取得したクレジットカード情報を利用しているケースも多いことが判明しており、セキュリティコードが流出している実態を踏まえた対策の検討が必要であることが明らかになりました。

現在、キャッシュレス推進協議会においては、コード決済の標準化を目的に検討を進めているところではあり、当該ガイドラインにおいてもセキュリティ対策の検討を行っております。ただし、本事案については喫緊の対策が必要であり、当該事案に特化した検討会を開催することといたしました。

## 2. 検討会の概要

不正利用防止対策を業界横断的に検討するため、キャッシュレス推進協議会において、コード決済事業者、クレジットカード会社等にご参集頂き、検討会を立ち上げ、コード決済事業者として守るべきセキュリティの水準を検討してまいります。

2019年1月前半より検討会を開催し、クレジット取引セキュリティ対策協議会、日本クレジット協会等、関係諸団体とも連携しつつ、3月末までに3～5回程度の検討会を開催し、対策案を取りまとめてまいります。

本検討会については、各社のセキュリティ対策等について検討を行うため、原則非公開といたします。

## 3. 関連情報

経済産業省によるリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181228005/20181228005.html>

以上